

伊藤 ゆきひろの ちょこっとタイム



刈谷市議会議員

後援会便り <No.104号> 2019年 11月1日 発行

ごあいさつ

まだ早い夕刻、一瞬風も凪いだ川べりで
ふと仰いだ空に雁の列…晩秋の風情です。
去る22日、天皇陛下の即位を国内外に
広く知らせる“即位礼正殿の儀”が厳かに
挙行され古式に則った日本の伝統儀式が
世界に発信されました。象徴天皇として国民
と共に在り世界平和への貢献を切望します。

ところで近年大型化する台風や集中豪雨による
自然災害は枚挙にいとまがなく、対策は喫緊の課題
ですが、環境やエネルギーの分野では技術革新が目
覚ましく、今年もまた日本の研究者に栄えあるノー
ベル化学賞が授与されました。執念を持って取組む
熱意が、大災害の未然防止にも振り向けられます様。

前後して米グーグルの研究チームは、今最先端の
スーパーコンピューターで約1万年かかる計算を、
量子コンピューターでは約3分20秒で解いたとする
論文を発表したとのこと。実用化すれば医薬品他 人
類に有用な開発が進み、憂慮されている様々な問題
解決の手がかりとなるかも知れず、期待が募ります。

さて先月 議会常任委員会の行政視察を終えました。
学んだ事例を本市に置き換え提言に努めて参ります。

【後援会事務所】	
刈谷市一里山町金山100番地 (トヨタ車体労働組合内)	
Tel	0566-36-3870
Fax	0566-36-6272
E-mail	itou@bwcom.or.jp
HPアドレス	http://y110.jimdo.com



歳時記

11月 3日 (日・祝) 文化の日	温暖化のせいか 晩秋とは思えぬ小春
4日 (月) 振替休日	日和が続いたりしますが、寒暖の差が
8日 (金) 立冬	激しいこの頃、風邪をお召しの方々も
15日 (金) 七五三	多く見受けられるようになりました。
22日 (金) 小雪	予防接種に頼るだけでなく、食事や
23日 (土・祝) 勤労感謝の日	睡眠をしっかりとり備えたいものです。

伊藤ゆきひろの ちょこっと情報 !!



刈谷 良いトコ ♪



刈谷市では珍しくなった、放牧の風景を
間近に観られます。百頭以上の乳牛が、牧
場や牛舎で ゆったりと草を食べています。
さて、ここはどこでしょう？



10/1発行の<No.103>の答えは、逢妻
町に 本年3月開館した、刈谷市歴史博物館
でした。刈谷市の1万余年に渡る歴史をイベ
ント等通して様々な観点から趣深く学べます。

“カトラリーの歴史”への招待☆ (Chapter 3)

一方、イギリスやフランス等 ヨーロッパ主要国でも、16世紀頃までは殆ど
の人々が手掴みの食事をしていました。テーブルには大きなナイフが1本だけ、
大皿に盛られた肉や魚を主人が切り分け、それを個人個人が手掴みで食し、手
指が汚れた時にはテーブルクロスで拭く、というような会食風景であったため、
招待客は自分の席から手の届く範囲の料理しか食べられなかったことでしょう。

戦乱も落ち着き文化が華開いた頃、イタリアの名家・メディチ家からフラン
ス王家に嫁いだカトリーヌ又は、当時文化的に最先端だったイタリアと比べ、フ
ランス宮中の食事作法があまりに酷いことに驚き、持ち込んだカトラリーやマ
ナーについて連れて来た料理人に本としてまとめさせました。15世紀に出され
た“食事作法の50則”は、欧米諸国に今も残る本格的なテーブルマナーの書です。

ところが、カトラリーが使われ始めた中世ヨーロッパでは、王位継承者が毒
殺される事件が起きたため、毒に使用されることの多かったヒ素により、黒く
変色する性質のある 銀の食器とカトラリーが 重用されるようになりました。
しかし、非常に高価であることから、所有は一部の高貴な人々に限られました。

11月の行事予定

11月 1日 (金) 刈谷知立環境組合例月監査
4日 (月) ユタカ議員協議会研修会・全ト政策推進議員連絡会総会
6日 (水) ~8日 (金) 市民クラブ会派行政視察
19日 (火) 12月議会説明会
21日 (木) 議会運営委員会
26日 (火) 衣浦東部広域連合議会臨時会

“まじめに
コツコツ、即行動”
頑張ります!!



10月のフットワーク

福祉産業委員会 行政視察報告

日程	視察先	視察テーマ
10月16日	熊谷市	農福連携事業について
10月17日	船橋市	健康スケール事業について
10月18日	川崎市	知的財産戦略について



【視察委員】 伊藤 幸弘(委員長) 松永 寿(副委員長)
 新海 真規(委員) 渡邊 妙美(委員) 牛田 清博(委員) 深谷 英貴(委員) 当局 2名

熊谷市 埼玉福興株式会社の『農福連携事業』について

埼玉福興(株)は、障がい者を労働力の主力と捉え、共に働き社会で自立できることを理念に、農業と福祉を一体化させた新たな就労形態や環境(ソーシャルファーム)をつくり、障がい者も自然の中で自分のペースでのびのびと働き社会参加していた。

【刈谷市が参考にすべき事項】

- ・障がい者に加え高齢者雇用も含めた農福一体の事業所設立と6次産業化の検討。
- ・福祉事業所の就労移行支援に農作業分野の就労も加えた支援形態の検討。

【所感】高齢者や障がい者の社会参加は今や社会の大きな課題。刈谷市には高齢者のシルバー人材センターや、障がい者の就労移行支援はあるが農業就労はなく、農業分野でのソーシャルファーム事業による雇用創出は検討すべき事業と感じた。

船橋市の『健康スケール事業』について

船橋市は、フレイル予防として「健康スケール」を構築し、年齢以外の物差しで元気度を評価する指標と仕組みをつくり、健康で元気な地域づくりに取り組んでいた。

【刈谷市が参考にすべき事項】

- ・介護予防・疾病予防・健康づくりを一体化した組織体制で行っており検討すべき。
- ・科学的根拠に基づき、元気度と要支援・要介護リスクを数値で示す手法の検討。

【所感】元気度を〇〇スマイルという単位で示し、「幾つになったの?」と聞かれたら「78歳だけど元気度は104スマイルだよ」という会話が地域で飛び交っており、また、3年後のリスクも数値で示したことは刈谷市も導入すべきと感じた。

川崎市の『知的財産戦略事業』について

川崎市は、専門家のコーディネータを配置した財団を設立し、大企業の公開特許を活用して、中小企業の技術をさらにブラッシュアップさせる取り組みや、出張キャラバン隊による中小企業支援活動を積極的に行い、地域産業の活性化を図っていた。

【刈谷市が参考にすべき事項】

- ・大企業の公開特許を活用した技術支援など、中小企業を支える戦略的な計画策定。
- ・各専門家による伴走型支援活動が必要であり、それを支える外郭団体設立の検討。
- ・中小企業の製品等をブランド化する認定制度の導入と市内外へのPRの充実。

【所感】刈谷市は自動車産業を中心に発展し中小企業の貢献は大きい。先行き不透明な状況の中、雇用の維持と地域経済の活性化は市民の生活を守ることに繋がり、中小企業の持続的発展に資するための本腰を入れた取り組みが必要と感じた。

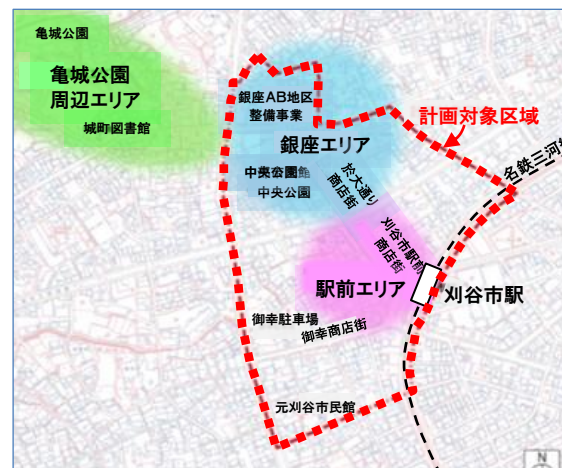
「刈谷市駅周辺地区市街地総合再生基本計画」の概要紹介

【計画期間】 2019年度～2028年度までの10年間

【背景と目的】 本計画は、建物更新に合わせた開発誘導および土地の有効活用、都市機能の更新等を推進することによって、刈谷市駅周辺を時代の変化に対応した魅力あふれる地区に整備し、都市の競争力や魅力向上に寄与する方針等の策定を目的とする。



【1】対象区域



【2】地区整備の基本方針

『駅前立地の利便性を活かした歴史と文化の薫るまちづくり』

【3】各エリアの整備基本方針

- 1)にぎわい軸(地区全体)
 刈谷市駅から銀座地区、亀城公園までつながる軸として、歴史・文化を感じるにぎわいのあるまちを目指す。
- 2)駅前エリア
 亀城公園周辺エリアへの玄関口として交流の生まれるまち、生活利便性が高く、地域の歴史文化を感じるまちを目指す。
- 3)銀座エリア
 生活のための商業機能や、居住環境などの確保を図り、駅前立地の利便性を享受し、歴史・文化を感じられ、交流が生まれるまちを目指す。

【4】重点整備地区の整備方針

- 1)重点整備地区は、市街地整備による投資効果を高めるとともに本計画の目的を実現させるため、特に重点的に整備等の施策を実施する。「駅前エリア」は、亀城公園周辺エリアへの玄関口として重要なエリアであることから、重点整備地区として設定。
- 2)整備方針は、4つのエリアに区分
 - ①再開発エリア
 共同化による一体的な機能更新及び駅前広場や道路の再整備。
 - ②寺院および公園等の活用エリア
 既存寺院や公園等を活かした空間や景観づくり。
 - ③基盤整備エリア
 共同化を用いた基盤整備による良好な居住空間の創出。
 - ④個別更新エリア
 個別更新による良好な居住環境創出。

